

3 がんの治療

がんの治療には様々なものがあります。その主なものは手術と薬物療法（抗がん剤治療）、放射線治療です。病気の種類や状態によって異なりますので、詳細は担当医などにご相談してください。

●標準治療＝最も優れた治療 （手術・薬物療法・放射線治療）

標準治療と先進医療はよく比較されます。「先進」と「標準」という言葉を比べると、どうしても標準の方が劣っているように感じてしまいが、標準治療というのは「現時点で最も効果が期待できる優れた治療法」の事です。

がん治療においては診療ガイドライン（推奨グレード）といい、がんの種類や進行度合いによって推奨される治療法が決まっています。その推奨グレードで最も高いグレードAにあたるものが標準治療です。世界中の治験実績やデータを元に、最もお勧めできる治療法がグレードAの治療ということになります。



●手術

手術とは身体にできた腫瘍などを切除する外科的な治療法のことをいいます。

がんに対する手術療法は、原発巣（おおもとの腫瘍）とその周囲のリンパ節を切除することが一般におこなわれています。また、胃や大腸といった消化管（食物の通り道）を切除する場合には、切除した後に通り道を再建することも必須となります。したがって単純に腫瘍を切除するだけではない、高度な技術が要求されます。

手術は患者さんの身体に加わる侵襲が大きく、出血や全身麻酔に伴うリスクもあります。したがって手術によるメリット（がんを治せる可能性など）が十分にあると判断された場合に初めて適応となります。そのような手術以外に、がんによる苦痛症状などを緩和するためにおこなう手術（姑息的手術といいます）もあります。

最近では「腹腔鏡手術」や「ロボット手術」などの手術方法そのものも進化しています。手術を受ける場合には、何のために受けるのか、どのような方法があるのか、どの程度のリスクがあるのか、といったことの説明を担当医から十分に受け、理解し納得した上で受けていただくことが重要です。



●薬物療法（抗がん剤治療）

薬物療法とは、抗がん剤、分子標的薬、ホルモン剤などによる治療をいいます。

抗がん剤は100種類近くあり、治療薬として使われています。がんを殺す能力を持つ抗がん剤、分子に作用してがん増殖を抑える分子標的薬、がんを殺す免疫を復活させる免疫チェックポイント阻害薬などがあります。



薬物療法の効果が出やすい一部のがんでは、薬物療法のみでがんを治すことを目指します。また、がんの種類や進行の程度によっては、手術（外科治療）や放射線治療に薬物療法を組み合わせることにより、治癒を目指す治療を行います。がんが進行した状態で見つかった場合や再発した場合など、がんの治癒を目指すことが難しくなったときは、がんの進行を抑えたり、症状を緩和したりするために、薬物療法を行います。

薬物療法は手術や放射線治療などの局所を治療する方法と違い、がん細胞だけでなく他の健康な細胞にも影響を及ぼすため全身に影響が出ることが多いとされます。治療を始める前に、治療期間や予想される副作用、日常生活の注意点などについて説明を受けましょう。副作用が現れたら、我慢せずに医師や看護師、薬剤師に相談しましょう。

●放射線治療

放射線治療は手術、薬物療法と並ぶがんの3大治療法の1つです。手術と同様、局所に対する治療ですが、臓器を取り除いたりすることなくがんの部分に放射線をあてて治療します。放射線があたって、痛みや熱を感じることはありません。

治療の目的は、完治を目指す場合と苦痛を緩和する場合の2つに分かれます。単独で行われることもありますが、手術や薬物療法と併用されることもあります。

副作用としては、全身の倦怠感、食欲低下、貧血、白血球減少、血小板減少、皮膚の変化などがあります。症状が現れた場合は、医師や看護師などにご相談ください。



●粒子線治療（重粒子線・陽子線）

粒子線治療とは、重粒子線や陽子線等をがんの病巣に照射して治療する、放射線治療の種類です。標的となるがん病巣に対して重粒子線や陽子線を集中して照射ができるため、がん細胞を死滅させる効果が高く、副作用がすくなくできます。重粒子線と陽子線の違いは、重粒子線の方が陽子線より集中して照射できる点です。

効果的ながんの種類としては、前立腺がん、頭頸部の腫瘍、肺がん、肝臓がんなどに現在のところ有効とされています。

しかし、保険適用がされている診察や検査、入院料、薬代以外の費用（重粒子線そのものの治療）は自由診療という保険外の治療になるため、高額な負担がかかります。九州では、鹿児島県や佐賀県に専門の治療施設があります。

【粒子線治療における公的医療保険適用の可能性のあるがん種】

一部のがん種では、特定の医学的状況において、公的医療保険適用の可能性のあるものがあります。ただし、当該がん種であっても適用にならない場合があるので主治医に確認しましょう。

陽子線治療	重粒子線
頭頸部悪性腫瘍（口腔・咽喉頭の扁平上皮癌を除く）、早期肺癌（Ⅰ-ⅡA期）＊、肝細胞癌＊（長径4cm以上）、肝内胆管癌＊、局所進行性膵癌＊、局所大腸癌＊（手術後に再発したもの）、限局性及び局所進行性前立腺癌、限局性の骨軟部腫瘍＊	
小児腫瘍 （限局性の固形悪性腫瘍）	局所進行性子宮頸部腺癌＊、局所進行性子宮頸部扁平上皮癌（長径6cm以上）＊、婦人科領域の悪性黒色腫＊

＊手術による根治的な治療が困難であるものに限る
日本放射線腫瘍学会のホームページから引用（2024年6月時点）

●免疫療法

免疫療法は、私たちの体の免疫を強めることにより、がん細胞を排除する治療法です。この治療法は近年注目されており研究が進められています。しかし残念ながらまだほとんどの免疫療法では有効性（治療効果）が証明されていません。

現在、効果が証明され、診療ガイドラインに記載されて標準治療となっている治療方法は、「がん細胞などが免疫にブレーキをかける仕組み」に働きかける免疫チェックポイント阻害薬などの一部の薬に限られています。

効果が証明されている免疫療法についてもすべての患者さんに効果があるわけではなく、一定の割合の患者さんにのみ効果があるということがわかっています。

副作用については、従来の化学療法に比べて少ないと報告されていますが個人差が大きく、いつ生じるか予測がつかないため注意が必要です。

また、思わぬ部位に副作用が出ることもありますので、免疫療法を受ける前に副作用についてよく確認し、いつもと違う症状を感じたら、医師や薬剤師、看護師にすぐに相談しましょう。

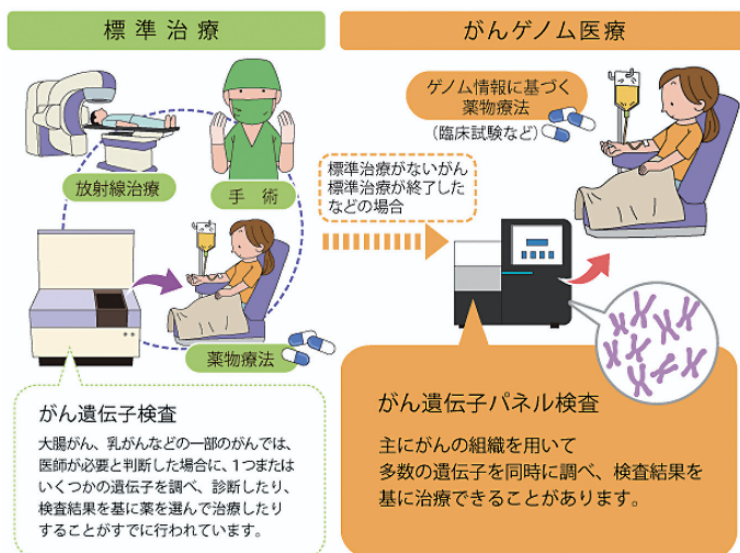
●がんゲノム医療

がんゲノム医療とは、主にがんの組織を用いて、多数の遺伝子を同時に調べる「がん遺伝子パネル検査」^(※1)によって、一人一人の遺伝子の変化や生まれ持った遺伝子の違い（遺伝子変異）を解析し、がんの性質を明らかにすることや体質や病状に合わせた治療などを行う医療です。

一部のがんの治療では、がんの組織などを用いて1つまたはいくつかの遺伝子を調べる「がん遺伝子検査」を行い、遺伝子の変化に対応した薬の選択が、標準治療としてすでに行われています。

一方、がんゲノム医療として、多数の遺伝子を同時に調べる検査である「がん遺伝子パネル検査」は、標準治療がないまたは終了したなどの条件を満たす場合に行われています。

(※1) がん遺伝子パネル検査は、合う薬があるかどうかを調べる検査です。



出典：国立がん研究センターがん情報サービス『がんゲノム医療 もっと詳しく』

がんゲノム医療拠点病院

熊本大学病院	熊本市中央区本荘1-1-1 がんゲノムセンター 096-373-5643
--------	--

がんゲノム医療連携病院

済生会熊本病院	熊本市南区近見5-3-1 がんゲノムセンター 096-241-0200
熊本赤十字病院	熊本市東区长嶺南2-1-1 患者サポートセンター（医療連携室） 096-384-2111
国立病院機構 熊本医療センター	熊本市中央区二の丸1-5 がん相談支援センター 096-353-6501

〈予約についての注意点〉

必ずかかりつけ医（現在治療をお受けの医療機関）から予約をしてもらいましょう。患者さんからの直接予約は受け付けていません。

●がんゲノム検査についてのお問い合わせ

がん診療連携拠点病院のがん相談支援センター（P.7～8）

【コラム1】他の治療法は？

治療法の中には、がんの場所や大きさ、進行度等によって適用できない場合もあります。また、補完代替療法を使用するときには、必ず主治医に相談し、自分にとって本当に必要なものか、慎重に検討しましょう。

● 温熱療法

温熱療法は、がん細胞が正常の細胞と比べて熱に弱いという性質を利用した治療法です。

全身を温める方法（全身温熱療法）と、がんやその近くを温める方法（局所温熱療法）があります。一般的には局所を電磁波やマイクロ波などを用いた装置で温めます。また、胆管など管腔内に器具を入れて温める方法やがん組織に電極を刺し温める方法もあります。単独で行われるより複数の治療法を組み合わせることが多いようです。国内で治療を行う装置の普及も増え、現在は全面保険適用になりました。がんの場所や進行度によっては適さないこともありますので治療法の選択については、担当医とよく相談して受けるようにしましょう。

● 補完代替療法

補完代替療法とは、がんの治療の目的で行われている治療法（手術、薬物療法、放射線療法など）を補ったり、その代わりに行う医療のことをいいます。

健康食品やサプリメント、鍼・灸、マッサージ療法、運動療法、心理療法、心身療法などがあります。しかし、補完代替療法はがんの進行を遅らせる、生存率を高めるという治療効果が科学的に証明されたものではありません。必ず担当医と相談のうえよく検討することが大切です。

● ラジオ波焼灼療法（RFA）

身体の外から特殊な針をがんに直接刺し、通電してその針の先端部分に高熱を発生させることで、局所的にがんを焼いて死滅させる治療法です。焼灼時間は10～20分程度です。

● 凍結療法

腫瘍に特殊な針を刺してがん細胞を凍らせ、細胞膜を破壊し、壊死させる治療法です。高齢や持病などの理由により手術が難しい場合に実施することがあります。

●セカンドオピニオン

セカンドオピニオンとは、治療の進行状況、治療の選択などについて、担当医とは別に、違う医療機関の医師に「第2の意見」を求めることです。担当医を替えたり、転院したり、治療を受けたりすることではありません。

セカンドオピニオンを受けることで、病気に対する理解が深まったり、別の治療法が提案された場合には治療の選択の幅が広がったりすることがあり、より納得して治療に臨むことができます。担当医が気を悪くされてはいけないと心配される方もいらっしゃると思いますが、セカンドオピニオンは、納得できる選択をするために大変有用な仕組みです。

●セカンドオピニオンを受ける場合

担当医の意見を十分に理解した上で、担当医にセカンドオピニオンを受けたいと考えていることを伝え、紹介状（診療情報提供書）、血液検査、病理診断記録、画像検査結果などを依頼します。

セカンドオピニオン先の病院には、その目的、病気の経過、質問事項などを整理し、メモしてから行きましょう。信頼できる人に同行してもらおうとよいでしょう。

セカンドオピニオンを受けたら、現在の担当医に報告した上で、これからの治療法について再度相談しましょう。

セカンドオピニオン外来を行っている病院、専門領域などの情報は、がん相談支援センターに聞くことができます。

〈セカンドオピニオンを受ける時の流れ〉

①担当医に診断と治療方針（ファーストオピニオン）を聞きましょう

②セカンドオピニオンを受けたいという希望を担当医に伝えて、紹介状を書いてもらいましょう

③希望の医療機関にセカンドオピニオンの申込みをしましょう

④事前に、聞きたいこと、ご自分の希望などをまとめておきましょう

⑤セカンドオピニオンの結果を担当医に報告して、今後のことを相談しましょう

※迷われた場合はがん相談支援センターに相談してみましょう。

がんに関するセカンドオピニオン問い合わせ先一覧表

	医療機関名受付窓口	セカンドオピニオン 受付時間	問い合わせ先	セカンドオピニオン料金 (報告書作成含む・税込)
熊本	熊本大学病院 地域医療連携センター	月～金 8:30-17:15	096-373-5676	1回 35,640円
	熊本市市民病院 がん相談支援センター	月～金 8:30-17:00	096-365-1606	30分 7,850円 以降30分 7,850円
	熊本赤十字病院 医療社会事業課	月～金 8:30-17:00	096-384-2111	30分 11,000円 以降30分 11,000円 ※最長60分
	国立病院機構熊本医療センター 地域医療連携室	月～金 8:30-17:00	096-353-6501	30分 11,000円 以降30分 11,000円
	済生会熊本病院 地域医療連携室	月～金 9:00-17:00	096-351-8372	1回 33,000円 ※最長60分
	熊本中央病院 がん相談支援センター	月～金 9:00-16:00	096-370-3111	30分 11,000円 以降30分 11,000円
	熊本地域医療センター 地域医療連携室	月～金 9:00-17:00	096-363-3311	30分 5,500円 以降30分 5,500円 ※最長60分
	くまもと森都総合病院 セカンドオピニオン 相談窓口	月～金 8:30-17:00	096-364-6021	30分 11,000円 以降30分 11,000円 ※最長90分
	大腸肛門病センター高野病院 がん相談支援センター	月～金 9:00-17:00 土 9:00-12:00	096-320-6500	1回 5,500円 (診療を行った 場合は保険診療 内で負担)
有明	荒尾市立有明医療センター 患者サポート・医療連携室	月～金 8:30-17:15	0968-63-1115	30分 7,840円 以降30分 7,840円
	くまもと県北病院 地域医療連携室・がん相談支援センター	月～金 8:30-17:15	0968-73-5000	30分 11,000円 以降30分 11,000円
鹿本	山鹿市民医療センター 地域医療連携室・がん相談支援センター	月～金 8:30-17:15	0968-44-2185	30分 6,050円 以降30分 3,300円
菊池	熊本再春医療センター がん相談支援センター	月～金 8:30-17:15	096-242-1000	30分 11,000円 以降30分 5,500円

	医療機関名受付窓口	セカンドオピニオン 受付時間	問い合わせ先	セカンドオピニオン料金 (報告書作成含む・税込)
天草	天草地域医療センター 地域医療連携センター	月～金 8:30～17:30	0969-24-4125	30分 11,000円 以降30分 11,000円 ※最長60分
	天草中央総合病院 地域医療連携室	月～金 8:30～17:15	0969-22-0011	30分 5,500円 以降30分 5,500円
宇城	国立病院機構熊本南病院 地域医療連携室	月～金 8:30～17:15	0964-32-0826	60分 11,000円
八代	熊本労災病院 地域医療連携室	月～金 8:15～17:00	0965-33-4151	30分 7,500円 以降30分 7,500円
	熊本総合病院 地域医療連携室	月～金 9:00～17:00	0965-32-7111	相談無料
芦北	国保水保市立総合医療センター 地域医療支援センター	月～金 8:30～17:00	0966-63-2101	30分 7,700円 以降30分 7,700円
人吉	人吉医療センター 相談支援センター	月～金 8:30～17:00	0966-22-2191	30分 11,000円 延長30分 11,000円
阿蘇	阿蘇医療センター 地域医療連携室	月～金 9:00～17:00	0967-34-0311	30分 11,000円 以降30分 11,000円

※費用は、基本的に公的医療保険が適用されない自費診療で、病院によって異なります。

●がんの治療に伴う身体ケア

がんの治療を行うことにより、身体にも様々な変化が起きます。ここでは、がん治療後の身体をケアする方法についてご紹介いたします。

詳細なことは、がん相談支援センターにお尋ねください。

●がんリハビリテーション

能力を維持・向上させ、今までと変わらない生活を取り戻すことを支援することによって、生活の質（QOL：クオリティー・オブ・ライフ）の維持や向上を目的として行われます。がんのリハビリは、がんと診断されたときから、障害の予防や緩和、あるいは能力の回復や維持を目的に、あらゆる状況に応じて対応を行います。

・予防的リハビリテーション

がんと診断され様々な治療が開始される前から行われます
治療に伴い生じるであろう機能障害を予測し、その予防を目的に行われます

・回復的リハビリテーション

治療後に生じた機能や能力の低下を出来るだけ治療前の状態に近づけ日常生活の再獲得を目的として行います
医師の指示のもと治療後の早い段階から行われます

・維持的リハビリテーション

がんの進行に伴い生じる様々な機能や能力の低下に対して、その都度行われます
運動や動作のコツの指導、自助具や福祉用具に関する提案や動作指導が行われます



・緩和的リハビリテーション

ご本人の要望に合わせながら、疼痛や苦痛を緩和すること、動作の工夫によりADL（日常生活動作）の維持を図ること、マッサージや会話を通して精神的な援助を行うことなどを目的に行われます

●リンパ浮腫ケア

リンパとは、人間の身体をめぐる水分で、心臓から血液として送り出された後、多くは血管の中を流れますが、残りはリンパ液として血管の網目からリンパ管に流れていきます。リンパ液はリンパ節から静脈に戻って心臓に帰っていきます。浮腫（むくみ）はリンパ液が増えることが原因です。リンパ液の流れが悪くて起こるむくみをリンパ浮腫といいます。

リンパ浮腫は生まれつきリンパ管の発達の悪い人や病気や治療でリンパ節が十分に働けない状態で起こります。多くは乳がんや婦人科がんの患者さんに起こります。

予防としては運動療法とスキンケアがあります。むくみが出やすいところを動かすなどして流れをよくします。スキンケアは皮膚が乾燥しないようにローションを使ったりします。浮腫がある場合は、弾性ストッキングを使用したり、リンパマッサージが有効ですが、どちらも専門の外来などに相談したうえで行いましょう。

【コラム2】ヘルプマークを知っていますか？

内部障がいや難病の方、妊娠初期の方など、外見からはわかりにくい障がいや症状を抱える方が身に付けることで、援助や配慮を必要としていることを周囲に知らせるためのマークです。熊本県ではカード型とストラップ型の2種類を配付しています。

（配付窓口）県健康福祉政策課、県保健所、協力市町村福祉担当窓口等

お問い合わせ

熊本県健康福祉部 健康福祉政策課
地域支え合い支援室 096-333-2202



カード型



ストラップ型

● アピアランスケア（外見支援）

がんやがん治療に伴って、脱毛や皮疹、手術後の傷など外見に変化が生じることがあります。外見の変化によって気持ちが落ち込んだり、人前に出ることに消極的になったり、生活に影響する場合には医療者にご相談ください。ご本人にあった対処方法について一緒に考え、自分らしく安心して生活できるように支援します。

例えば、乳がんの治療の後の乳房の再建、脱毛に対するかつらの使用などがあり、専門の外来を設けているところもあります。がん相談支援センターでも詳細な情報を得ることができます。

また、市町村によってはアピアランスケア用品
購入費用の一部を助成する制度があります。

※ P.59熊本県がん患者 QOL 向上事業参照



● アピアランスケア教室

熊本大学病院がんセンターでは、がん治療を受ける方のためにアピアランスケア教室を実施しています。会場での実施だけでなくオンデマンドでの配信も行っています。詳細はホームページでご確認ください。

熊本大学病院 がん相談支援センター
アピアランスケア



●がんの治療と口腔ケア

がんの治療では、口の中にさまざまなトラブルが高い頻度で現れます。痛みだけでなく、食事や会話を妨げたり、時にはトラブルのため入院が長引いたり、がんの治療自体に影響が出ることもあります。

また、がんの治療によって身体の変化が起き、抵抗力が落ちた状態でさらに食事がきちんと取れないと、体力も低下してしまいます。

このため、熊本県ではがん診療連携拠点病院と歯科医院が連携し、手術、薬物療法、放射線治療の前などに、かかりつけの歯科医院を受診していただき、虫歯がないかやお口の中の傷や感染症がないかをチェックし、安心して治療を受けていただけるようにしています。歯科医院への通院が困難な方のために、ご自宅や施設へ伺うこともできます。

がん診療連携拠点病院と連携している歯科医院については、熊本県歯科医師会のホームページ（<http://www.kuma8020.com/>）で検索できます。

治療を予定されている方へ

当院では、治療開始前に歯科を受診しておくことをお勧めしています

お口の汚れは、腫瘍の原因になる可能性があります。

全身麻酔の手術中は、口から喉のおく（気管の中）に人工呼吸器のチューブが入ります。口の中の衛生状態が悪いと、口の周囲が感染の原因になり込まれ、腫瘍の原因になる可能性があります。

飲みお薬や放射線治療の副作用などによっては、口内炎などが起こることがあります。免疫力が低下した状態で感染すると状態が悪化することがあります。しっかり口から食事を取れなくなると、体力が低下し、術後の回復を遅らせます。

あらかじめ口の中を良い状態に整えておくことが重要です。

皆様安心して歯科を受診していただけるように、熊本県がん拠点病院と熊本県歯科医師会の連携を受けている「がん医療連携歯科医院」を紹介いたします。

がん治療前の口腔ケアや、がん医療連携施設についてご質問などがある場合は、までお問い合わせください。

がん診療連携拠点病院 熊本県がん拠点病院
熊本県歯科医師会 熊本県

● 「私のカルテ」・「私の日記」

熊本県では、だれもがいつでもどこでも安心してがんなどの治療を受け、療養生活を送られるように「私のカルテ」や「私の日記」を運用しています。

● 「私のカルテ」とは

がん診療連携拠点病院の専門医と、お住まい近くの医療機関の医師が連携して（役割分担して協力しながら）がんの患者さんを診るために作られた計画表が入っているファイルを「私のカルテ」と呼んでいます。



熊本県内のがん診療連携拠点病院からお渡しするもので、がんの患者さんご自身が所持し、がん診療連携拠点病院や地域の医療機関、歯科医院などを受診する際あるいは保険薬局を利用する際などに提示し記録をしていくご自身のカルテです。診療報酬上の点数があるため場合によって負担金があります。

● 「私の日記」とは

皆さんが体調や治療のこと、日常生活のこと、気持ち等を自由に記載して、大切な想いをつなぐための日記です。「プロフィールや大切にしたいこと」編と「体調のきろく」編がひとつのカバーに収まっています。

ープロフィールや大切にしたいことー

まず初めに、ご自身のプロフィールや大切にしたいこと、生活の中で大事にしていることなどを考えてみませんか。「どんなことが好きか」「どんなふうに過ごしたいか」—そうした想いを知ることで、医療者はよりその人らしいケアを考えることができます。



ー体調のきろくー

毎日の体調や生活について記載します。「今日は少し楽だった」「こんな症状が気になる」「気持ちが落ち着かない」—そんな小さな声も、大切な情報です。

1冊目が終わったら2冊目へ取り替えて使います。



詳しくは、がん診療連携拠点病院 がん相談支援センター もしくは
熊本県がん連携サポートセンター（☎096-373-5764）へ
お尋ねください